



専有部の完成イメージ。日本と同等の品質を追求することで、差別化を図る

ラ・アトレ カンボジアで118戸 日系上場デベ初参入

ラ・アトレのカンボジア現地法人ラ・アトレプロパティデベロップメント(プノンペン、武藤伸

司CEO)は、カンボジアで分譲マンション事業に参入する。日系の上場デベロッパーの分譲マンション供給は初めて。

専有部は27〜37平方メートルのスタジオ68戸、41〜55平方メートルの1ベッドルーム42戸、74〜78平方メートルの2ベッドルーム4戸、107〜123平方メートルのペントハウス4戸からなり、総戸数118戸を供給する。17年夏に着工し、20年夏に竣工する予定。

ラ・アトレは16年7月にタイ・バンコクで、高級ビルや駅前コンドミニアムを手掛ける現地最大手のデベロッパー、アドバンスリビングに出資し、海外投資家向けに分譲コンドミニアム事業に参入している。

プノンペン市ボンケンコン地区は、プノンペン市内で外国人駐在員の住宅需要が高い一等地にある。香港・台湾などの投資家向けに、先進国の生活様式を実現する、現地で希少な日本水準の住宅品質を目指す。長期の安定的な賃貸需要や現地富裕層の実需による購入を見込む。

プノンペン国際航空から約12キロに立地する敷地596平方メートルに延べ床面積7566平方メートル・地上18階建て地下1階建てを開発する。

企画・デザイン・設計・施工プロデュースのほか、資材・備品・設備も日本と同等の品質を目指す。24時間コンシェルジュサービスを採用するほか、24時間管理体制を導く。快適な暮らしと資産

